

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期	
52101	保育原理 Early Care and Education	寺部 直子	専門	2	選択	1年前期	
科目の概要							
保育士資格の必修科目。保育の本質・目的に関する科目である。この科目の単位を取得できないと保育士になることはできない。保育士となる上で必要な基礎的な知識と基本的な考え方を案内し、今後の学習の指針として示し、保育者としての自学自習及び自己研鑽を援助する。							
学修内容			到達目標				
① 保育の意義について理解する	① 保育の意義(児童・保護者・社会についてそれぞれのどのような意義があるか)を理解し、他者に伝えられるようになる。	② 保育の思想、保育所を中心とした保育の歴史の変遷について理解する。	② どのような思想から保育所が生まれ、発展していったのかを知り、それが現在の問題とどのようにつながっているのか理解し、自分の言葉で表現できる。	③ 保育に関わる法律、保育所保育指針、幼保連携型こども園保育・教育要領の概要について理解する。	③ 保育所保育指針や他の法律等において、保育士という職業に求められていることがどんなことかを理解し、幼稚園教諭等との違いを理解した上で、他者に正確に伝えられるようになる。	④ 保育の内容と方法の基本について理解する。	④ 保育所保育には「ねらい」があり、それを達成するための事項として「内容」があるということを理解し、それらに基づいて保育の計画をたてなければならないということを理解している。
⑤ 保育の現状と課題について考察する。	⑤ 保育の現状を知り、現在の課題は何かを理解し、今後どうあるべきか、特に自分の居住または就職を希望する地域の保育について、自分なりに考えたことを他者に伝えることができるようになる。						
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	講義を欠席しないように日頃から健康管理に気をつける。毎回の小テストで 80%以上の得点ができるよう復習する。ミニレポートに積極的に取り組み、その時間で学んだことを自分の言葉で表現する。また、その時間わからなかったことを明らかにし、その答えについて自分なりに考えて表現する。					
	働きかけ力						
	実行力	この講義で課される課題について、自分なりに計画を立てて、適切な間に合うように調査したり読書したりし、その成果を他者にもわかるように表現する。					
考え抜く力	課題発見力	期末課題の調査を通して、自分の地域の課題はどんなことなのか発見できる。講師の講義中の姿勢、学生への対応を通して、自分が保育者になるにあたって必要な能力は何かということを発見でき、他の資格科目を学ぶ意義を理解できる。講義で学修したことを元に新しい課題を発見し自ら進んで学ぶ。					
	計画力	適切なまでに課題を完成させることができるように計画を立てる。					
	創造力	講義の中で紹介される事例や学友の意見、感想について、自分ならどうする、どう考える、どう感じるかと自問自答しながら講義を受ける。					
チームで働く力	発信力	講義中に、講師から投げかけられる質問(課題)について、自分はこう考えたと発言したり、ミニレポートに記入したりする。					
	傾聴力	講義中に紹介される学友の意見・感想に関心を寄せ、自分ならこう考えるこう感じるということを発言したり、ミニレポートで表現したりする。質問の意図を汲み取ろうとしながら話を聞く習慣をつける。					
	柔軟性						
	状況把握力	保育士資格に必要な科目であるから、講師の求めるレベルに対応できるように努力する。(資格に必要な科目だから不合格になることはないだろう、という甘い考えは捨てる。)					
	規律性	講義に欠席しない。体調不良にならないように心がける。適切なを守る。					
	ストレスコントロール力	テストやレポートで「不合格」となった場合、自分のどこを直したらよいか、自分から進んで講師に質問する。					
テキスト及び参考文献							
豊田和子『実践を創造する 保育原理』(みらい)、『保育所保育指針解説書』、『幼保連携型こども園保育・教育要領』(フレーベル館)、講師が配布するプリント							
他科目との関連、資格との関連							
資格との関連:保育士							

学修上の助言	受講生とのルール
<p>☆自ら学び考え問いかけることを大切に☆ 社会人基礎力のうちとりわけ<主体性・働きかけ力・実行力・創造力・発信力・傾聴力・柔軟性>をみなさんが発揮することを求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義の時間は1週間に90分「しか」ありません。 ・講義で語ることは、皆さんの学習への入り口・手がかりです。それを頼りに、テキストや講義の時に紹介した資料等を読んで学びを深めてください。 ・疑問に思ったこと、感じたこと、考えたことは、ぜひ、積極的に表現して、学友とともに学びを深め合ってください。 ・家での学習は、講義の復習と講義で出された課題を中心に行ってください。 <p>講義の復習は、プリント・教科書をしっかり読み、自分のノートにそれをまとめることをすすめます。小テストの前にまとめてやろうとすると絶対にできませんので、毎週必ずまとめることをすすめます。</p>	<p>①指定席に座ってください (列の一番前はあけてください)。 ②講義の時は、講師が指示した、テキスト・ノート・配布した資料・筆記用具以外のものは、机の上に置かないでください。携帯電話は、電源を切るか、音のしないマナーモード(バイブ不可)にして、カバン等にしまってください。 ③皆さんとお話したいことがたくさんあります。講義と関係ない私語その他の行為で、講師や学友の集中を乱す方には、退室していただく場合があります(その場合、欠席扱いにします)。質問や用事のある場合には、遠慮なく挙手等合図してください。</p>

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト	40	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ⑤	① (講義中の小テスト)自分で考えた解答が書いてあるか(0.5点×14) ② (講義中の小テスト)復習できるように正解が赤ペンで書いてあるか(0.5点×14) ③ (総まとめ小テスト)講義中の小テストをしっかり復習して正確に記憶しているか。60%以上の得点ができなかった場合は、不合格とする(まとめ小テスト分の26点は0点とする。)
レポート	50	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤	①(自分の地域の保育施設調べ)指定された保育施設について、指示された事柄を不足なくきちんと調べられているか。(不足ある場合減点。) ②(自分の地域の保育施設調べ)自分の地域の保育施設の現状について、自分の意見を述べられているか。(意見が書かれていない場合、不合格。) ③(読書感想文)課題図書についてきちんと内容を把握し、その内容に対して「保育原理」で学んだことを生かして意見を述べているか。(自分の見解が書かれていない場合、不合格) ④(読書感想文)インターネット上に掲載されている他人の文章や学友の文章を丸写し、あるいは一部だけ書き直す程度で提出していないか。(講師にそれとわかった場合は、「カンニング」とみなし、ほぼ同一の文章については、すべての者を不合格とする。)
成果発表			
作品			
社会人基礎力(学修態度)	10	① ✓ ② ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	(主体性)(規律性) ①欠席しない。欠席した場合は、自分から進んで欠席課題をとりこきて、欠席課題をきちんと提出する。 (自ら取りに来ない、指定された期限までに提出しない場合、1回ごとに2点減点) (実行力)(計画力) ② 締め切りまでに間に合うように計画を立てて提出物をしあげる。 (課題発見力)(創造力) ③講義で学修したことをもとに新しい課題を発見し自らすすんで学んでいる。 (傾聴力) ④質問の意図を理解して適切な応答をすることができる。指示されたことを指示されたとおりにすることができる。 (発信力) ⑤自分の考えを他者にも伝わるように発信する。誤字脱字に気をつける。若者にしか通用しない流行語を使用しない。
その他			
総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀) 及び A(優) の基準	到達レベル B(良) 及び C(可) の基準
<p>*到達レベル A(優) の基準</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保育の意義(児童・保護者・社会についてそれぞれどのような意義があるか)を理解し、他者に伝えられるようになっている。 ② どのような思想から保育所が生まれ、発展していったのかを知り、それが現在の問題とどのようにつながっているのか理解し、自分の言葉で表現できる。 ③ 保育所保育指針や他の法律等において、保育士という職業に求められていることがどんなことかを理解し、幼稚園教諭等との違いを理解した上で、他者に正確に伝えられるようになる。 ④ 保育所保育には「ねらい」があり、それを達成するための事項として「内容」があるということを理解し、それらに基づいて保育の計画をたてなければならないということを理解している。 ⑤ 保育の現状を知り、現在の課題は何かを理解し、今後どうあるべきか、特に自分の居住または就職を希望する地域の保育について、自分なりに考えたことを他者に伝えることができるようになる。 <p>*到達レベル S(秀) の基準 上記に加えて</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 全講義に出席している。 ② 文章表現において、誤字脱字がなく、俗語、流行語を使用していない正確な表現である。 ③ 自分の意見をしっかりと持っていて他者と議論できるレベルである。 ④ 指示された予習・復習・課題学習をした上で、さらに自ら新しい課題を発見してすすんで意欲的に学んでいる。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 保育の意義(児童・保護者・社会についてそれぞれどのような意義があるか)を理解している。 ② どのような思想から保育所が生まれ、発展していったのかを知り、それが現在の問題とどのようにつながっているのか理解し、自分の言葉で表現しようとしている。 ③ 保育所保育指針や他の法律等において、保育士という職業に求められていることがどんなことかを理解し、幼稚園教諭等との違いを理解している。 ④ 保育所保育には「ねらい」があり、それを達成するための事項として「内容」があるということを理解し、それらに基づいて保育の計画をたてなければならないということを理解している。 ⑤ 保育の現状を知り、現在の課題は何かを理解し、今後どうあるべきか、特に自分の居住または就職を希望する地域の保育について、自分なりに考えたことを他者に伝えようとしている。 <p>*到達レベル C(可) の基準</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保育とは何かということを理解し、理解したことを表現している。 ② どのような背景から保育所が生まれ、発展していったのかを理解している。 ③ 保育所保育指針において、保育所と保育士という職業に求められていることがどんなことなのか、最低限のことを理解している。 ④ 保育所、幼稚園、幼保連携型こども園の違いを理解している。 ⑤ 調査を通して自分なりに考えたことを表現できている。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	(保育の現状と課題: 日本の保育の現状と課題) 子育て家庭の経済問題 (教科書第2章)	講師から講義の進め方について案内する。 また、「子どもを産む」ということを身近な問題として考えられるように、子育て家庭の経済問題についての講師のプレゼンを見て学び、考え、ミニレポートに記述する。 (フィードバック) ミニレポートには、必要に応じて講師がコメントする。個別の応答の他、学生全体に知らせたり、解説したりするべき事項だと判断した場合は、学生のレポートと講師のコメントを印刷し、翌週の講義冒頭で配布する。特に学修においてのキーポイントであると講師が判断した場合には、口頭での解説も行う。更に、各自の見解をその週のミニレポートに記述することを求める場合もある。以下同様である。	「子育て」の経済面の実態について実感を伴って理解できている。	(復習) 講義のプレゼンを元にして、友人や家族と意見を交流する。 その内容を文章にまとめる。 (予習) 講義中に指示された課題	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	(保育の現状と課題: 日本の保育の現状と課題) (保育の意義 保育の理念と概念・児童の最善の利益を考慮した保育・保護者との協働・保育の社会的意義) 児童虐待の現状と保育所の社会的役割 (教科書第1章) (保育所保育指針第1、7章)	現在の「保育とは何か」を考えるきっかけとして、子ども、子育て問題に関するプレゼンを見て、学び、考え、ミニレポートにまとめる。 (フィードバックについては、第1週と同様である。)	「保育とは何か」ということに関心を寄せ、それを知る手がかりとして、現在の日本の子ども、子育ての実態を知り、もっと他に問題がないか、知ろうとしている。保育士の仕事が、子どもの養護と教育だけではなく、保護者の子育て支援と地域の子育て家庭の支援もその仕事の一部であることを理解する。	(復習) 学修内容について、講義のプリントと教科書を読んで復習する。 (到達度 A 自分自身のノートにまとめる。) (予習) 講義で課された課題	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	(保育の思想と歴史の変遷: 諸外国の保育の思想と歴史、諸外国の保育の現状と課題<フランス>) オーベルランの「編み物学校」が、いつ、どこで、何をめざして作られ、どのように子どもたちを保育していたのか、また、この学校ができたことで、どんな影響があったのかを学び、理解する (教科書第5、13章)	前々週、前週の受講生のミニレポートの紹介をうけて考えたことをミニレポートに記入する。 講師のプレゼンを受けて理解したこと理解できなかったことと自分なりの答えをミニレポートに記入する。 (フィードバックについては、第1週と同様である。)	オーベルランの「編み物学校」について、オーベルランがその施設をつくることで何を目標していたのかが理解できている。	(復習) 学修内容について、講義のプリントと教科書を読んで復習する。 (到達度 A 自分自身のノートにまとめる。) (予習) 講義で課された課題	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	(保育の思想と歴史の変遷: 諸外国の保育の思想と歴史、諸外国の保育の現状と課題<イギリス>) ロバート・オーエンの幼児学校について、いつ、どこで、何をめざして作られ、どのように子どもたちを保育していたのか、また、この学校ができたことで、どんな影響があったのかを学び、理解する。 (教科書第5、13章)	小テストで前週の学習内容の復習の到達度を知り、更に学ぶべきことを知る。 前週の受講生のミニレポートの紹介をうけて考えたことをミニレポートに記入する。 講師のプレゼンを受けて理解したこと理解できなかったことと自分なりの答えをミニレポートに記入する。 (フィードバックについては、第1週と同様である。)	ロバート・オーエンの幼児学校が何を目標して作られ、どのように子どもたちを保育していたのかが理解できている。 オーエンの保育方針について、自分の考えを明らかにできている。	(復習) 学修内容について、講義のプリントと教科書を読んで復習する。 (到達度 A 自分自身のノートにまとめる。) (予習) 講義で課された課題	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
5週 /	(保育の思想と歴史的変遷:諸外国の保育の思想と歴史、諸外国の保育の現状と課題<ドイツ>) フレーベルの幼稚園についていつ、どこで、何をめざして作られ、どのように子どもたちを保育していたのか、また、この学校ができたことで、どんな影響があったのかを学び、理解する。(教科書第5章)	小テストで前週の学習内容の復習の到達度を知り、更に学ぶべきことを知る。前週の受講生のミニレポートの紹介をうけ考えたことをミニレポートに記入する。講師のプレゼンを受けて理解したこと理解できなかったことと自分なりの答えをミニレポートに記入する。(フィードバックについては、第1週と同様である。)	フレーベルの幼稚園が何を指してつくられ、どのように保育をしていたのか、この幼稚園がどのような影響を与えたのかを理解できている。	(復習) 学修内容について、講義のプリントと教科書を読んで復習する。(到達度 A 自分自身のノートにまとめる。)(予習) 講義で課された課題	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	(保育の思想と歴史的変遷:日本の保育の思想と歴史) 日本の戦前における保育施設について、それぞれが、いつ、どこで、誰が、何をめざして作られ、どのように子どもたちを保育していたのかを知る。(教科書第6章)	小テストで前週の学習内容の復習の到達度を知り、更に学ぶべきことを知る。前週の受講生のミニレポートの紹介をうけ考えたことをミニレポートに記入する。講師のプレゼンを受けて理解したこと理解できなかったことと自分なりの答えをミニレポートに記入する。(フィードバックについては、第1週と同様である。)	日本の戦前における保育施設が、それぞれ何をめざして作られたのかを理解できている。	(復習) 学修内容について、講義のプリントと教科書を読んで復習する。(到達度 A 自分自身のノートにまとめる。)(予習) 講義で課された課題	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	(保育の思想と歴史的変遷:日本の保育の思想と歴史、保育所保育指針の制度的位置づけ) 戦後の保育所・幼稚園がどのような法的根拠のもとに成立したかを知る。現在、その法律にはどのような条件が規定されているのかを知る。(教科書第6章、第3章)	小テストで前週の学習内容の復習の到達度を知り、更に学ぶべきことを知る。前週の受講生のミニレポートの紹介をうけ考えたことをミニレポートに記入する。講師のプレゼンを受けて理解したこと理解できなかったことと自分なりの答えをミニレポートに記入する。(フィードバックについては、第1週と同様である。)	保育所・幼稚園の根拠となる法律名と、それぞれの基本的条件を理解できている。	(復習) 学修内容について、講義のプリントと教科書を読んで復習する。(到達度 A 自分自身のノートにまとめる。)(予習) 講義で課された課題	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	(日本の保育の現状と課題、保育所保育と家庭的保育) こども園について、どのような理由でつくられたのか、また、どのような種類があって、それぞれどんな条件があるのかを知る。こども・子育て新制度の概要を知る。(教科書第3章) * 地域の保育施設調べの課題をどのようにすすめたらよいか理解する。* 読書感想文レポートをどのように書いたらよいかを理解する。	小テストで前週の学習内容の復習の到達度を知り、更に学ぶべきことを知る。前週の受講生のミニレポートの紹介をうけ考えたことをミニレポートに記入する。講師のプレゼンを受けて理解したこと理解できなかったことと自分なりの答えをミニレポートに記入する。(フィードバックについては、第1週と同様である。)	こども園が作られた理由とそれぞれの種類について理解できている。こども・子育て新制度の概要が理解できている。	(復習) 学修内容について、講義のプリントと教科書を読んで復習する。(到達度 A 自分自身のノートにまとめる。)(予習) 講義で出された課題(課題学習) * 地域の保育施設がいくつあるかを確認し、締め切りまでにレポートを完成させることができるように計画をたてる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	(保育所保育指針における保育の基本) 保育所保育の基本について、保育所保育指針に示されている特性、「家庭との連携をしながら」「発達過程に応じ」「環境を通して」「養護と教育を一体的に行う」ものであることを理解し、それぞれの留意点について知る。 (教科書第8章) (保育所保育指針第1章)	小テストで前週の学習内容の復習の到達度を知り、更に学ぶべきことを知る。 前週の受講生のミニレポートの紹介をうけ考えたことをミニレポートに記入する。 講師のプレゼンを受けて理解したこと理解できなかったことと自分なりの答えをミニレポートに記入する。 (フィードバックについては、第1週と同様である。)	保育所保育の基本について、保育所保育指針に示されている特性、「家庭との連携をしながら」「発達過程に応じ」「環境を通して」「養護と教育を一体的に行う」ものであることを理解している。	(復習) 学修内容について、講義のプリントと教科書を読んで復習する。 (到達度 A 自分自身のノートにまとめる。) (予習) 講義で課された課題(課題学習) * 地域の保育施設調べにとりかかり、指定された条件を調べ始める。 * 読書感想文のレポートの本をどれにするか比較検討して決めて読み始める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 計画力
10週 /	(遊びを通して総合的に 行う保育、保育における 個と集団への配慮) 本来この講義は保育士養成の為のものであるが、この回は、初めての幼稚園実習に備え、「幼稚園の1日」のDVDを視聴し、「遊びを通して総合的に 行う保育」というものがどのようなものであるかを理解し、保育者がどのように「個と集団への配慮」をしているか、特に、どのように、幼児の安全面に配慮しているか、それぞれの幼児の気持ちを汲み取るのにどのような行動をとっているかを観察し、講師のアドバイスを受ける。	小テストで前週の学習内容の復習の到達度を知り、更に学ぶべきことを知る。 前週の受講生のミニレポートの紹介をうけ考えたことをミニレポートに記入する。 DVDを視聴し、指示されたところで、講師の質問に対する自分の考えをミニレポートに記入する。のちに講師のアドバイスを受け、メモする。 (フィードバックについては、第1週と同様である。)	「遊びを通して総合的に 行う保育」「個と集団への配慮」がどのようなものか理解し、幼稚園での実習では、幼児の安全面に配慮すること、幼児同士のトラブルにおいては、それぞれの幼児の気持ちを汲み取ることが大切であることを理解している。	(復習) 学修内容について、講義のプリントと教科書を読んで復習する。 (到達度 A 自分自身のノートにまとめる。) (予習) 講義で課された課題(課題学習) * 地域の保育施設調べにとりかかり、指定された条件を調べ始める。 * 読書感想文のレポートの本をどれにするか比較検討して決めて読み始める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 計画力
11週 /	(保育の目標と方法の基本) 子どもたちが「現在を最もよく生き」、その「望ましい未来を作り出す力の基礎を培う」為に、保育の計画を立てることの重要性を知る。その計画を立てるために必要な要素、保育の目標、ねらい、内容がどのようなものであるかを理解する。 さらに、計画・実践・記録・評価・改善の過程の循環が大切であることを理解する。 (教科書第9、10、11章) (保育所保育指針第2、3、4章)	小テストで前週の学習内容の復習の到達度を知り、更に学ぶべきことを知る。 前週の受講生のミニレポートの紹介をうけ考えたことをミニレポートに記入する。 講師のプレゼンを受けて理解したこと理解できなかったことと自分なりの答えをミニレポートに記入する。 (フィードバックについては、第1週と同様である。)	保育の計画を立てることの重要性を知り、その計画を立てるために必要な要素、保育の目標、ねらい、内容があることを理解している。 さらに、計画・実践・記録・評価・改善の過程の循環が大切であることを理解する。	(復習) 学修内容について、講義のプリントと教科書を読んで復習する。 (到達度 A 自分自身のノートにまとめる。) (予習) 講義で出された課題(課題学習) * 地域の保育施設調べにとりかかり、指定された条件を調べ始める。 * 読書感想文のレポートの本をどれにするか比較検討して決めて読み始める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
12週 /	(保育の目標と方法の基本) 保育のねらいと内容について養護、教育のそれぞれについて理解し、具体的に考えられるようにする。また発達段階に応じた配慮しなければならないことがあることを理解する。 (教科書第9、10章) (保育所保育指針第3章)	小テストで前週の学習内容の復習の到達度を知り、更に学ぶべきことを知る。 前週の受講生のミニレポートの紹介をうけ考えたことをミニレポートに記入する。 講師のプレゼンを受けて理解したこと理解できなかったことと自分なりの答えをミニレポートに記入する。 (フィードバックについては、第1週と同様である。)	養護に関わるねらいが「生命の維持」「情緒の安定」の二つ、教育の関わるねらいが「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」であると理解できている。	(復習) 学修内容について、講義のプリントと教科書を読んで復習する。 (到達度 A 自分自身のノートにまとめる。) (予習) 講義で出された課題(課題学習) * 地域の保育施設調べにとりかかり、指定された条件を調べる * 読書感想文のレポートの本を読む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 計画力
13週 /	(保育の目標と方法の基本) 保育のねらいと内容について養護、教育のそれぞれについて理解し、具体的に考えられるようにする。また発達段階に応じた配慮しなければならないことがあることを理解する。 (教科書第9、10章) (保育所保育指針第3章)	小テストで前週の学習内容の復習の到達度を知り、更に学ぶべきことを知る。 前週の受講生のミニレポートの紹介をうけ考えたことをミニレポートに記入する。 講師のプレゼンを受けて理解したこと理解できなかったことと自分なりの答えをミニレポートに記入する。 (フィードバックについては、第1週と同様である。)	養護に関わるねらいが「生命の維持」「情緒の安定」、教育の関わるねらい「健康」「人間関係」「言葉」「表現」にそれぞれ内容があることを理解できている。	(復習) 学修内容について、講義のプリントと教科書を読んで復習する。 (到達度 A 自分自身のノートにまとめる。) (予習) 講義で出された課題(課題学習) * 地域の保育施設調べにとりかかり、指定された条件を調べる * 読書感想文のレポートの本を読む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 計画力
14週 /	(保育所保育指針における保育の基本、倫理観に裏付けられた保育士の専門性) 保育者に求められる資質、専門性、倫理とそれを守れなかった場合の罰則規定についてあその法的根拠とともに理解する。 (教科書第4章) (保育所保育指針第7章)	小テストで前週の学習内容の復習の到達度を知り、更に学ぶべきことを知る。 前週の受講生のミニレポートの紹介をうけ考えたことをミニレポートに記入する。 講師のプレゼンを受けて理解したこと理解できなかったことと自分なりの答えをミニレポートに記入する。 (フィードバックについては、第1週と同様である。)	保育者に求められる倫理と罰則規定について理解している。	(復習) 学修内容について、講義のプリントと教科書を読んで復習する。 (到達度 A 自分自身のノートにまとめる。) まとめ小テストに備え今まで学習したことをそう復習する。 (課題学習) * 地域の保育施設調べにとりかかり、指定された条件を調べ始める。 * 読書感想文のレポートの本をどれにするか比較検討して決めて読み始める。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 計画力
15週 /	まとめの小テストを受け、今までの学修の成果を知る。 さくらさくらんぼ保育のDVDを視聴し、保育の可能性について考え、自分なりに考えたことをレポートにまとめて記入する。	小テスト 自己採点 DVD 視聴をし、その感想をミニレポートにまとめる。	DVDの内容について講師が指示したことによってミニレポートにまとめることができている。	(復習) まとめ小テストの自己採点をし、わからなかったところを復習する。 (課題学習) レポート課題をすすめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 計画力 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力